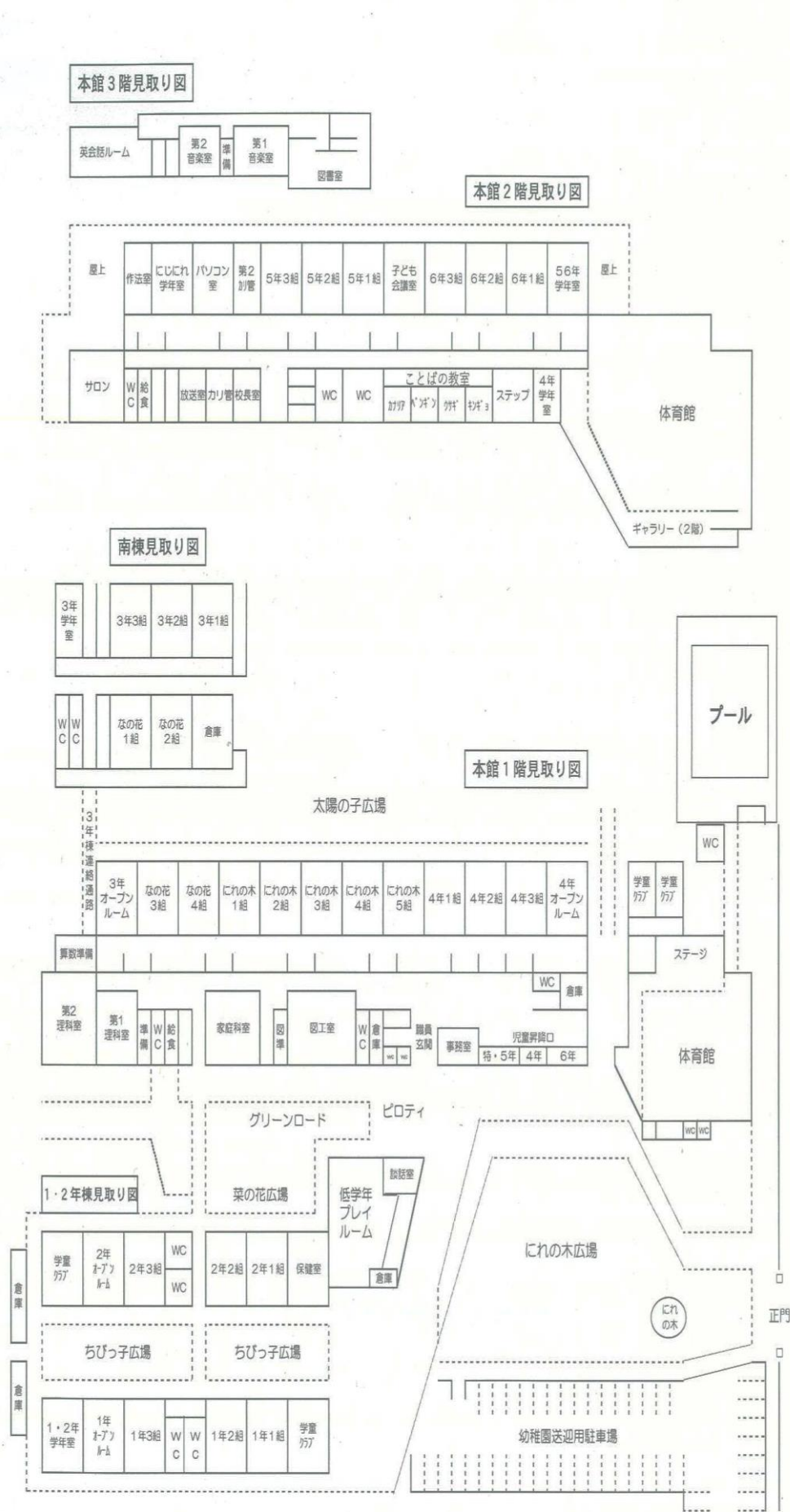


教 職 員 一 覧				令和 7. 5. 1 現在			
担当	氏 名			担当	氏 名		
校長	石川 康浩			なの花 1	石井 麻子		
教頭	鈴木美枝子			なの花 2	庄司 喬允		
教務(加増)	山下 剛史			なの花 3	鈴木 友和		
1-1	徳永 武史			なの花 4	大金 美穂		
1-2	鈴木 綾乃			ペンギン(言語)	鈴木 智子		
1-3	武田 薫子			ウサギ(言語)	網代 明子		
2-1	郡司 翔梧			ステップ(LA)	山田 淳		
2-2	小山 裕			専科(カリ管)	坂口由紀子		
2-3	鈴木 里奈			専科(カリ管)	吉見 聡雄		
3-1	高木 恵			少人数	田山 優子		
3-2	和田 拓海			図工指導補助	伊藤みな江		
3-3	渡 かなえ			初任研指導教員	鈴木 容子		
4-1	江澤 真里			訪問相談担当教員	小澤 純子		
4-2	中川 大珠			ALT	マクリーン		
4-3	山口 彩乃			養護教諭	大川 千秋		
5-1	奥村 麻美			事務長	鈴木久美子		
5-2	堀端 真紀			副主査	宮本 佳織		
5-3	北原 萌未			事務補助員	畔上未奈子		
6-1	島田 理央			事務補助員	平島 弘子		
6-2	佐粧 啓子			顔マネシメント職員	庄司 憲弘		
6-3	坂井 啓佑			スクールサポートスタッフ	原 晴美		
にれの木 1	押本一代里			長期研修	田中 圭祐		
にれの木 2	秋山 雅彦			休暇	松本 沙希		
にれの木 3	木本みゆき			休暇	熊澤あさな		
にれの木 4	佐久間博紀			休暇	田邊 あい		
にれの木 5	大山 一郎			休暇	小川すみれ		

児 童 数

年	1 年生			2 年生			3 年生			4年生			5年生		
組	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
男	14	15	14	13	13	13	12	12	11	12	13	13	12	13	13
女	11	11	11	12	12	12	13	14	14	14	15	13	18	17	17
計	25	26	25	25	25	25	25	26	25	26	28	26	30	30	30
年	6 年生			にれの木					なの花				全 校	言 語	L A
組	1	2	3	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
男	16	19	17	3	7	5	5	7	6	5	4	6	23	12	13
女	17	16	16	4	0	2	2	0	2	1	2	0	26	13	2
計	33	35	33	7	7	7	7	7	8	6	6	6	59	25	15

令和 7 年度 館山市立北条小学校 校舎配置図



令和 7 年度 学校要覧

館山市立北条小学校



北条小学校 校歌

作詞作曲 湯本 芳子

一、太平洋の波洗う

房総は先ず夜の明ける国

波に碎くる旭光に

北条校は輝ける

北条校は輝ける

二、西にそびゆる富士が嶺の

姿の如く清らかに

明日の日本の建設へ

進まん我等手を取りて

進まん我等手を取りて

〒294-0045 千葉県館山市北条4 5 6

TEL 0470-22-2141 FAX 0470-22-2142

E-mail houjyote@city.tateyama.chiba.jp

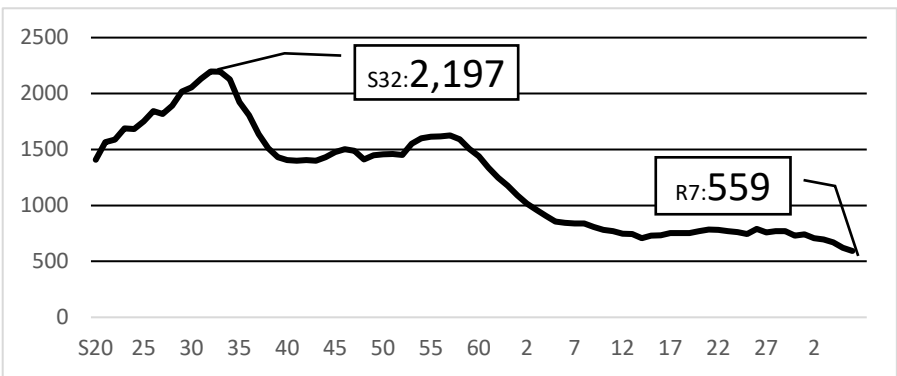
学 校 の 概 要

1. 学区の特色

北条小学校の学区は、ＪＲ館山駅を挟んで、東西に広がる海岸平野に形成された砂丘列に存在する。北条地区は明治期、安房地方の行政の中心となり、大正８年「安房北条駅（現館山駅）」が開業するに及んで、安房地区の政治・経済の中心的位置を確立する。近年、大型店舗の進出等で従来の町の中心部から周辺部へと人の流れが変わってきた。従来の中心部は人口の希薄化の傾向さえ見えはじめている。このような時代の流れは、一面では活力の低下を招き、家庭環境の変化等の問題を生みつつある。しかし、地域社会の骨組みは堅牢で、連帯感も強く、地域の教育力は健在である。

また、ＰＴＡ活動等への保護者の協力状況をみると、学校への愛着や期待感、地域の自治活動力が強く感じられる。

2. 児童数の推移と児童の様子（R7.5.1現在）



安房地方の中心に位置し、都市部と同様に少子化現象、異年齢集団の消滅、塾、習い事の増加による遊び時間・場所の減少が生じているが、学校・家庭・地域の連携も進み、社会体育の振興に加え、地域全体で学校を支えるべく活動があり、子ども達は伸び伸びと生活している。また、大人との挨拶や対話にも躊躇せずに対応する姿も随所に見られる。

令和7年度 北条教育の方向

1. 学校教育目標 たくましく現代に生きる子どもの育成

— 社会に生きる個性の創造 —（研究目標）

【北条っ子は】 —認め合い、やり抜く子ども—

- ・色々なことにチャレンジし、最後まであきらめずにやり抜く
- ・自ら課題をもち、解決しようとする
- ・自分の考えをしっかり主張する、表現する
- ・一人一人が違うことを理解し、認め合う

【北条小の職員は】 —継承と変革をめざす教師—

日々、研修・研究に励み

- ・北条教育が大切にしてきたものを知る
- ・教育目標、研究テーマを自分なりに実践し、具現化する
- ・教師自身がやりたいことをもち、自分自身を高める
- ・仲間と補い合い、支え合い、チームで最大の力を発揮する
- ・「分担に耐え、分担を超える」

2. 本年度の重点目標

子ども主体：子ども理解に立った、子ども主体の教育活動

個性の尊重：子ども一人一人の良さを認め、さらに伸ばす

教員一人一人のやりたいことの実現と資質向上

チームの力を最大化：補い合い、支え合い、高め合い、協働

〈指導の重点〉

（1）学校経営：伝統の継承と変革

- ① 教育方針（教育理念）の共通理解と実践
 - ・カリキュラム管理室を中心とした、プラン実践検証サイクル（PDCA）の充実を図る
- ② 子どもや保護者との信頼関係に基づく経営
- ③ 安全・安心な学校
 - ・校内外における事故の要素を洗い出し、対応策を徹底する
- ④ 認め合い、高め合える教師集団の形成
 - ・他学年の様子を自ら知ろうとし、全校的な視点を持つ

（2）学習指導：やってみたい、話したがりを育てる

- ① 基本的事項の徹底
 - （ア）学習規律、学習習慣の確立
 - （イ）基礎基本の徹底
- ② 「やってみたい」「できた」「わかった」を大切にした授業の展開
 - ・問題解決型の授業となる学習過程の工夫に努める（自己決定、自己選択の場の確保）
- ③ 表現する力の育成
 - ・話したい、伝えたい気持ちとなる授業を工夫する
- ④ ICT活用による主体的・対話的で深い学びの展開

（3）生徒指導：子ども理解、生徒指導の質を1段階Up

- ① 基本的事項の徹底
 - （ア）生活規律の徹底
 - （イ）いじめ防止基本方針の理解
- ② 子ども理解
 - ・発達段階における子ども理解を図り、学年に応じた話し方、活動の仕方を工夫する
- ③ 認め合える集団の育成
 - ・授業での認め合う場面を大切にする
- ④ 自ら考え行動できる子どもを育てる
 - ・子どもの個性を認め、その子に応じた効果的な指導の在り方を考える

（4）人材育成：自らを高め、魅力ある教師に

- ① 具体的な目標をもち、成長を実感できる教師
 - ・例年通りではない、新たな試みを工夫する
- ② 授業力の向上
 - ・一人1実践（公開研究会、指導室訪問の活用）
 - ・交換授業、教科担任制に積極的に取り組む
- ③ キャリアに応じた資質能力の向上
 - ・OJTの充実を図る

（5）働き方改革：ワークライフバランスのとれた教師に

- ① 業務改善に努める
 - ・ICT、デジタル機器の効果的に導入する（テストのデジタル処理、デジタルドリルの効果的な活用）
- ② 時間外勤務の縮減
- ③ 心身の健康の保持
 - ・互いのモチベーションを高める声のかけ方を工夫する

研究・研修

